

SDGs宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

〈宣言日・変更日〉 令和3年1月29日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
環境を考えて木材にこだわり、災害に強く、住む人の健康を考え、長持ちする建物づくりを提案する。			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
国産及び北欧の木材を使用することによりカーボンニュートラルの特性による環境負荷を考えた建築会社をめざす。弊社の特徴である丸太組工法（ログハウス）の推奨と認知度アップの展示会開催を心掛ける。			
目標に関連する取組内容			
ゴール	昨年末までの取組目標	取組目標の達成状況	本年末までの取組目標
	新建材や化学物質等を一切使わず、天然素材である国産材・欧州材を使用した建築を行い、健康に良い癒される建物を作っていきます。	天然素材である欧州材を多く使用するログハウス建築により、健康に留意した快適な居住空間を提供。	引き続き天然素材の木材を使用した建築を行う
	年に一度国内や海外で全国の同業者さんと会議や研修会を行い、意見交換をして日々の仕事に良い影響を与えるように努力していきます。	コロナ禍のため現地研修会はできず、Web会議にて意見交換を行った。社内では3営業所に分かれて、zoomによる会議を開き時間の経費削減をしている。	引き続きWeb会議の活用による活発な意見交換、業者主催による研修会への積極的参加
	木材廃棄処分方法にも着目し、産廃処理業者の選定を含めてCO2排出量の少ない処分方法の情報収集を進め、カーボンニュートラルの状態を維持します。	建築現場での廃材は薪ストーブの燃料となり家庭の熱源となり低コスト住宅として生活している。	引き続き低コスト住宅の建築にこだわり、長持ちする住宅のまちづくりを実現していきたい
	100%天然の木材で建物を建築しており自然塗料を標準採用しています。	天然素材の木材の使用、またログハウスの塗装メンテナンスにおいて下地処理をすることにより木材の再生。	引き続き天然素材の材料を使用した建築を行う
	耐震等級3と耐火認定（60分）を取得して災害に強いまちづくりを提案いたします。	耐火認定（60分）の木材の使用、また耐震等級3を取得し、品質の高い住宅の建築。	引き続き天然素材の木材使用による災害に強いまちづくりの提案
	フィンランドでは国有林を営林署がチェックして伐採計画と植林計画をしっかり管理し、豊かな森を守っている（木材の合法性・持続可能性に配慮）。この材料による年間5棟の建築を目標とします。 また、フィンランドで広く使用されているPEFC（森林認証プログラム）やFSC（森林管理協議会）をはじめとした森林認証制度についても研究をしています。	フィンランド産の木材による年間2棟の建築と建築中2棟の実績。 森での若者たちの活動が少しずつブームになり、追い風として木の家に注目が増えているように思える。森林認証制度もさらに研究が必要。	年間5棟目標。森林認証制度についての引き続き研究

（記載上の注意）

- 1 取組は3～5つの目標に関する取組を記載してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 目標はなるべく定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

事業所・団体等又は関連事業者等の名称	株式会社 ヒデホームズ (本社が届け出る場合はその事業所の数)					
業種	2. 建設業					
代表者 職・氏名	職名	代表取締役社長				
	氏名	大井 英生				
所在地	〒422-8051 静岡市駿河区中村町5番地					
URL	http://hidehomes.jp					
従業員（構成員）数	男性	5人	女性	5人	計	10人